

## 「ごみと資源物の分別と収集方法の見直しについて」に関する パブリックコメント実施結果について

ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

お寄せいただきましたご意見に対する市の考え方をとりまとめましたので、ここに公表します。

### 1. パブリックコメント実施結果の概要

◆意見募集の期間 2014年（平成26年）10月6日（月）～11月6日（木）

◆意見書類提出数 4件（ファクス2件、窓口持参2件）

◆意見総数 12件

◆市の対応の概要

採否の 対応区分	対 応 区 分	件 数
○	意見を採用し、案に反映するもの。	1
△	意見の趣旨や考え方が既に盛り込まれているもの	2
□	意見を案に反映させることはできないが、参考とするもの	8
☆	意見として反映できないもの	0
◆	意見として採用できないもの	1

### 2. 提出された意見と市の考え方

提出された意見とその対応は以下のとおりです。一部要約や分割をしていますので、ご了承ください。

No.	意見の概要	対応 区分	採否の理由
1	「家庭金物」の創設は資源循環と処分費用補填の点で良い事ですが、定義が曖昧。	□	平成27年10月の実施までに決定し、新しく作成するごみ分別パンフレット（CUZ）で詳細の周知を予定しています。
2	集団資源回収は、任意団体の単独契約に任せるのではなく、市も入り3者契約で行うべき。これ以上の責任、負担を任意団体役員等に負わせるべきでない。	◆	別途実施しました「資源回収奨励金制（集団資源回収）の見直しについて」に関する内容のため本パブリックコメントとしては採用できません。
3	受託業者の安全衛生配慮義務及び法令順守を確保すること。	○	契約事項とし、委託回収開始後も十分に注意し、徹底していきます。

4	空きびんの場合、作業労力等を省くためにビニール袋に入れさせず、むき出しで色別に回収できる方法にするべき。	<input type="checkbox"/>	収集方法変更後の状況を踏まえ、今後、検討を進めてまいります。
5	排出量の少ない品目については収集日回数を減らすべき。	<input type="checkbox"/>	変更当初、排出量が少ないと想定される品目については、隔週にするなど、収集の回数を現在より減らす予定です。
6	各分別品の自区内処理の検討・実施してほしい。	<input type="checkbox"/>	自区内処理を原則とするが、処理の合理性とコスト面を考慮し、決定していきたいと考えています。
7	空き缶と空きびんは分別して収集する。	<input type="checkbox"/>	空き缶は、アルミ缶・スチール缶に分別して集団資源回収の品目として回収し、空きびんはこれまでどおりごみステーションで収集する予定です。
8	カセットボンベやスプレー缶はガス抜き処理をすれば、空き缶と一緒に資源化出来る。	<input type="checkbox"/>	収集時や処理過程での事故を防ぐため、新たに分別品目として設け、今後、資源化に向け検討してまいります。
9	瀬戸物、陶器くず、ガラスくずも分別すれば資源化できるはず。処理費用は有料化の収入で賄う。	<input type="checkbox"/>	ご意見として今後のごみ処理行政の参考とさせていただきます。
10	民間委託導入後、そのために空いた職員の労働時間について、有料袋で収集する品目と容プラ以外は袋回収を廃止し、回収ボックスをごみステーションに配置するなどして剥き出しで回収してほしい。配置するボックスは折りたたみ式にしてほしい。	<input type="checkbox"/>	収集方法変更後の状況を踏まえ、今後、検討を進めてまいります。
11	収集区域及び収集日に変更は必要だと思う。ペットボトルや容器包装プラスチックなどは区域をもっと細分化し、作業を平準化すれば広いストックヤードは必要なくなるのではないか。	<input type="checkbox"/>	収集方法変更後の状況を踏まえ、今後、検討を進めてまいります。
12	他の市町村でびんの色別収集車両を特注保有して回収を行っている。逗子市でも購入し、貸与するなど少しでも資源の有効活用を高めて欲しい。	<input type="checkbox"/>	収集方法変更後の状況を踏まえ、今後、検討を進めてまいります。